

# やはば

## 議会だより

**210**  
2019.10.16  
岩手県  
矢巾町議会



ぶどうこども園運動会  
(関連記事… P 24)

平成30年度決算審査	
持続可能なまちづくりの実現へ .....	2
予算決算常任委員会	
代表質疑 安全第一での「災害」対応は .....	6
一般質問 町政を問う	
認知症ケアパスの活用は 一般質問 8議員 .....	14

# づくりの実現へ

定例会9月会議は9月3日から19日まで開催され、平成30年度の決算を中心に補正予算、条例の一部改正等を審議しました。決算および補正予算は、予算決算常任委員会で審査され、本会議においてすべての会計が可決されました。

## グラフの用語解説

### 【歳入】

#### 繰入金

基金からの取り崩し

#### 分担金・負担金

保育料など、特定のサービスを利用する方から徴収するもの

### 【歳出】

#### 総務費

庁舎、財産等の維持管理等のための経費

#### 民生費

一定水準の安定した社会生活に必要な経費

#### 公債費

借入金の返済に要する経費

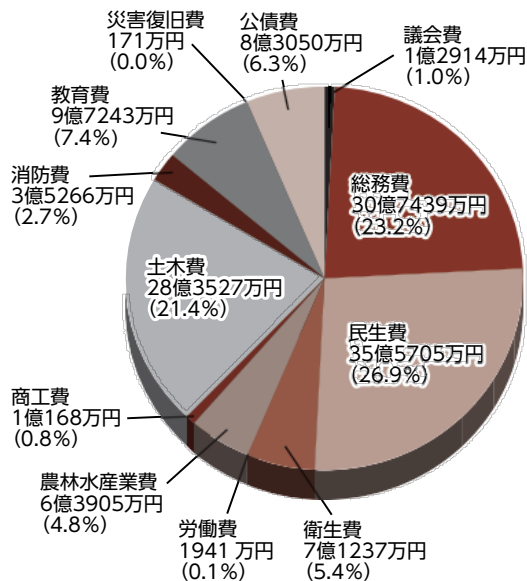
一般会計歳出は前年度比13・4%増で約132億2565万円となりました。教育費では主に小中学校のトイレ改修事業や町公民館と田園ホールの外壁等改修事業により、約2億5900万円の増額となっています。また、スマートIC関連道路や町道中央1号線などの道路整備を行

う土木費が約5億8683万円の増額となっています。一方、衛生費は約3億1494万円の減で、その主な理由は汚泥再生処理施設の建設が完了したことによる負担金の減額となっています。特別会計・企業会計については、4〜5ページのとおりです。

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比12・7%増で約139億1371万円となりました。自主財源である町税は、前年度比で約3899万円の増収となり、依存財源の国庫支出金では土木費、教育費が大

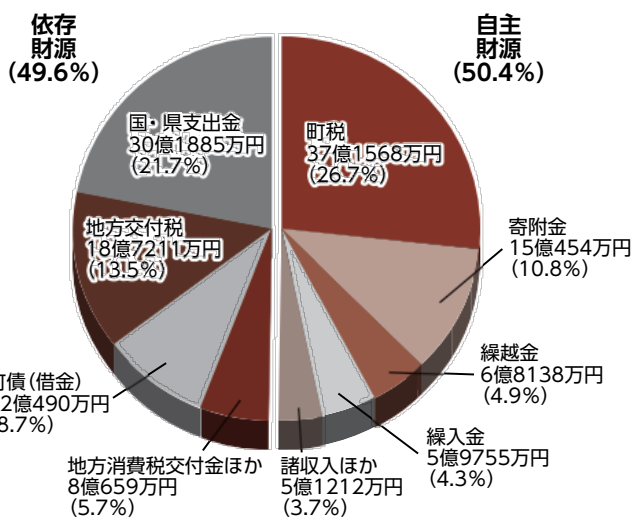
きく占めており約2億1750万円の増収となりました。なお寄附金については、ふるさと納税が前年度比8・7倍の約15億437万円の収入となっており、経費を差し引いた額は約3億6782万円となっております。

## 使ったお金



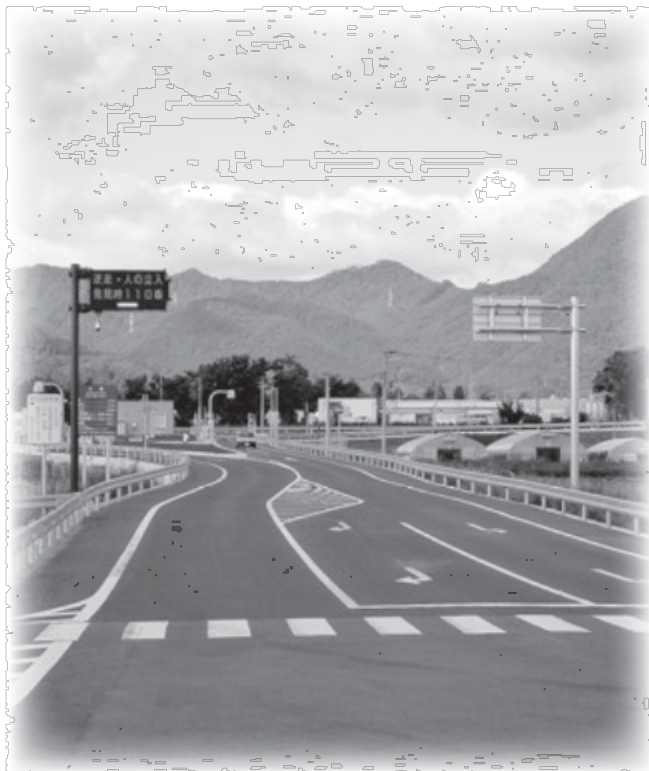
一般会計歳出 **132億2565万円**

## 入ってきたお金



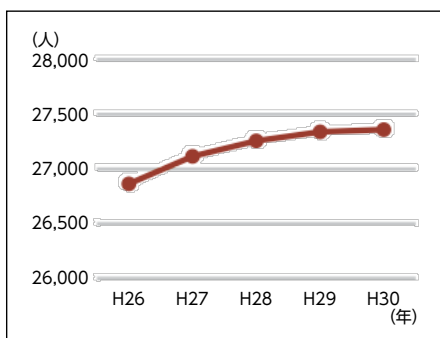
一般会計歳入 **139億1371万円**

# 平成30年度決算審査 持続可能なまち



安全性、利便性確保のため周辺道路の整備が進む（矢巾スマートICと岩手医科大学附属病院）

## 矢巾町 5年間の人口推移



### 実質収支

収入と支出の実質的な差

### 有収率

供給水量に対する使用水量の割合

### 不明水

下水道管の壊れた所から入ってくる地下水や雨水など

## 監査意見

### 恒久的な住民福祉の向上を

佐々木良隆 委員  
長谷川和男 委員

平成30年度の決算状況について、一般会計と4特別会計は、すべての会計において黒字決算となっており、実質収支額は合わせて6億9573万円余を計上している。今後も引き続き効率的な財政運営が行われ、順調に推移していくことを期待する。

水道事業会計は、有収率95・69%と経営指標の80・22%を大幅に上回る高水準であり、今後も長期的な視点で計画的な事業展開を期待する。

下水道事業会計は有収率が、73%で前年度から0・2%微増しているが、公共下水道事業と農業集落排水事業とも経営指標を下回っていることから、早急な不  
明水対策が望まれる。

少子高齢化や人口減少、さらには財源不足により、今後の行財政運営は厳しさを増すことが予想される。来年度は総合計画後期基本計画がスタートする。効率のかつ効果的な事業執行、恒久的な住民福祉の向上を図られることを期待する。

# 平成30年度決算 特別会計…高齢化の進行により増加傾向

## 国民健康保険事業特別会計

歳入 **24億9842万円** 前年度比  
16.6%減

歳出 **24億4765万円** 前年度比  
16.9%減

国保加入者の医療費や特定健診等に使われました。

被保険者 (5,084人)  
1人当たり  
**48万1442円**

## 介護保険事業特別会計

歳入 **22億1970万円** 前年度比  
7.1%増

歳出 **20億6097万円** 前年度比  
5.7%増

65歳以上の方等の介護サービス給付費や介護予防事業に使われました。

被保険者 (6,913人)  
1人当たり  
**29万8130円**

## 後期高齢者医療特別会計

歳入 **2億837万円** 前年度比  
8.1%増

歳出 **2億543万円** 前年度比  
7.6%増

75歳以上の方等の入院時の食事代や高額療養費などに使われました。

被保険者 (3,225人)  
1人当たり  
**6万3699円**

## 矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 **6億6256万円** 前年度比  
3.3%減

歳出 **6億3263万円** 前年度比  
5.9%減

やはば一くの運営費や駅前地区の整備事業等に使われました。

町民 (2万7,273人)  
1人当たり  
**2万3196円**

※ 1人あたりの金額は、平成31年3月末の人数から算出しました。

※ 国民健康保険事業は、平成30年度から県が財政運営の主体となり財政の仕組みが変わったことから前年度比が減少しました。



少子高齢化が進み社会保障の増加が予想される

# 企業会計…経営成績は黒字で推移

企業会計		収入	支出	収入支出差引額
水道事業会計	収益的	8億3525万円	4億6611万円	3億6914万円
	資本的	11億6046万円	17億1033万円	△5億4987万円
下水道事業会計	収益的	10億8205万円	10億134万円	8071万円
	資本的	2億7687万円	7億2685万円	△4億4998万円

## 【用語解説】

### 収益的収入および支出

水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や支出

### 資本的収入および支出

施設の新設や再整備に使用するための収入や支出

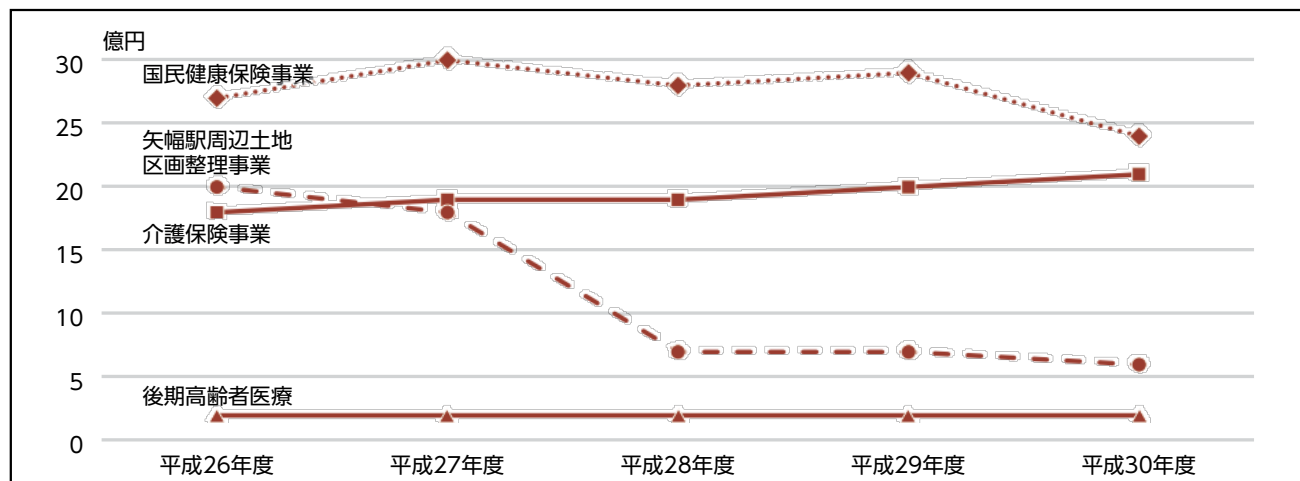


解散により町に組み込まれる上下水道施設  
(盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合 流通センター)



水道事業・下水道事業ともに、収入が支出に不足する額は、減価償却費などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金等で補てんしているのじゃ。

## 特別会計決算額(歳出)の推移



# 安全第一での「災害」対応は

一心会 藤原 梅昭 議員

**質問** 町民の命と財産を守る行政対応として、まずは「自然災害」対応が重要である。当町一級河川の改修状況と今後の計画は。

**回答** 岩崎川は、岩崎川橋から下流側は改修済みで、現在矢次公民館周辺を改修しており、年度内に完了の見込みである。県道不動盛岡線の上流は危険箇所を改修を予定。

**質問** 太田川は、基幹河川改修事業として来年度は橋梁設計や用地測量を進めていく。

**回答** 芋沢川も、基幹河川改修事業として順次整備を行うが、下矢次地内の鹿妻上堰との交差部は、今年度より着工する。

**質問** 大白沢川は、現在北伝法寺地内を改修中。

**回答** 太陽光パネル、蓄電池を設置する再生可能エネルギー導入事業を実施した。

**質問** 今後は、公用車に電気自動車への導入を進める。

**回答** 2回の自主防災組織連絡会議開催、町総合防災訓練

**質問** 自主防災組織の活動状況は。

**回答** 2回の自主防災組織連絡会議開催、町総合防災訓練

**質問** 全自治会で組織された自主防災組織の活動状況は。

**回答** 2回の自主防災組織連絡会議開催、町総合防災訓練

への参加、自主防災組織活性化事業の実施、講習会開催など地域防災力の強化を行っている。

**質問** 災害時避難行動要支援者名簿の活用状況は。

**回答** 行政区長及びコミュニティ会長と「町災害時避難行動要支援者台帳名簿の共有等に関する協定書」を締結し、台帳を配布した。

**質問** 民生児童委員の協力を得て、一人暮らしの高齢者などへ登録勧奨を実施した。

**回答** 町内11の公共施設へ、太陽光パネル、蓄電池を設置する再生可能エネルギー導入事業を実施した。

**質問** 今後は、公用車に電気自動車への導入を進める。

**回答** 町内11の公共施設へ、太陽光パネル、蓄電池を設置する再生可能エネルギー導入事業を実施した。

**質問** 今後は、公用車に電気自動車への導入を進める。

**回答** 町内11の公共施設へ、太陽光パネル、蓄電池を設置する再生可能エネルギー導入事業を実施した。

**質問** 今後は、公用車に電気自動車への導入を進める。

**回答** 町内11の公共施設へ、太陽光パネル、蓄電池を設置する再生可能エネルギー導入事業を実施した。

# 企業誘致の見込みは

矢巾明進会 村松 信一 議員

**質問** 市街化調整区域における地区計画制度による企業誘致の規模の見込みは。

**回答** 立地希望は12社であり、10月に地権者説明会を開催し意向を取りまとめ企業とのマッチングを図りたい。

**質問** エン（縁）ジョイやばネットワーク事業の充実と今後の取り組みは。

**回答** 参加者の健康状態や日々の活動量等の数値を随時測定し効果を検証しながら長く継続させたい。

**質問** 町内主要道路の案内看板の取付計画は。

**回答** 町道安庭線、堤川目線の交差点、煙山保育園付近に設置を計画している。

**質問** 町立学校のスポーツ大会に町民が応援に駆け付けられる体制を図っては。

**回答** 競技種目にもよるが町民が応援出来るような仕組み作りを検討したい。

**質問** 町税納付書の印刷・袋入業務委託により業務の効率化がどのように図られたか。

**回答** 調査業務と納税相談の窓口業務の体制強化を図った。

**質問** 医大付近の混雑緩和のため迂回路が必要となるが、整備計画の候補地はどこか。

**回答** 町道田浦線の整備の他、医大周辺の交通動態を注視し計画的に整備をしたい。

ヤマリ娘・ひまわり娘を公募し、町内各種イベントの宣伝をしてはどうか。

**回答** 町観光協会と協議しながら取り組んでいきたい。

# 代表質疑

代表質疑とは、会派を代表した議員が主に決算に対して行う質問です。本町では3名以上の会派が行うこととしており、9月会議では、2会派による代表質疑が行われました。

# まちの家計簿 徹底検証

平成30年度決算は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（廣田清実委員長）で審議されました。

## 一般会計

### 財政

**質問** 町税の収納率が高い、町民の納税意識は。

**回答** 他自治体の様子を聞く  
と意識が高いほうと感ずる。

**質問** 納期を過ぎた納付書は、コンビニ収納ができないのか。

**回答** そのとおりであるが、その後に発行する督促状でコンビニ納付は可能である。

**質問** ふるさと納税に15億円  
の寄附が集まり返礼品ほか経費を除くと、3億7000万円が実際の寄附額だが、その具体的な使途を教えてください。

**回答** 寄附金で明確に実施した事業はなく、集まった寄附金で、全体的に割り振り、事業を当初予算より、より充実させ実施した。

**質問** 医大関連事業は予算が多額である。将来負担比率は県内ワースト2位。なぜ町が

**回答** やらなければならぬか。  
**回答** 前町長が医大を誘致したからこそ、矢巾町が大きく変わった。周辺のインフラ整備は町がやっていかなければならない。医大が来ることによって、交流人口の増加、関係者の移住など矢巾町にも見返りがある。



各自治公民館に配置されている発電機

### 総務・防災

**質問** 町民に対する自動車運転安全装置の補助の考えは。

**回答** どのような安全対策がいいか検討したい。

**質問** デマンド型交通は家まで来てくれるという意識があるようだ。介護施設等の送迎で空いた時間を地域の足として活用できないか。

**回答** 介護施設や社会福祉協議会などの協力を得て、交通弱者対策を考えていきたい。

**質問** 町内全体が停電したときの対応は。

**回答** 自治公民館に発電機を置いてある。自主防災組織を中心に周知し、操作に慣れてほしい。

**質問** 婚活推進事業を増やしてほしい。年齢制限があるが幅広い年代で行ってほしいか。

**回答** 状況に応じ回数を増やし、年代にあった構成で開催したい。

**質問** 町内には防犯灯が不足しまだ暗い箇所がある。設置希望がないコミュニティへの声掛けは。また、安全上や防犯上の取り組みは。

**回答** 防犯灯は各コミュニティで要望すれば設置できるが、町の補助は2分の1であり、残り自治会負担となる。

**質問** 冷房設備がなく真夏の集団検診で熱中症になった事例がある。自治公民館の冷房設備の補助は地域に周知されているか。また、集団検診のありかたをどう考えるか。

**回答** 避難所にもなる自治公民館の冷房設備は順次行っていかなければならないので調査に取り組み。

集団検診は拠点施設で実施するなど、送迎経費も含め検討したい。

# 時代を担う若者や子どもたち

## 産業・建設

**質問** 農林水産業費でいわてニューファーマー支援事業補助金は、いつ交付されるのか。

**回答** 年度の支払いについては、県からまだ情報が入っていない。わかり次第お知らせする。

**質問** 6次産業化の取り組み内容は。

**回答** セミナーやいわて銀河プラザでの食に関するイベントなど農産物のブランド化を支援した。

**質問** カメムシ防除も高齢化で大変。町所有のドローンの有効活用はどうか。

**回答** 町所有は災害等の空撮が目的の機体であり、農業用に使用できる性能がないので利用ができない。



6次産業化事業で行われた食のイベント  
(いわて銀河プラザ 東京都中央区)

**質問** 松くい虫の状況は。

**回答** 優先順位をつけて防除をしているが、被害は増えていると認識している。

**質問** 創業支援補助金は。

**回答** 新規に事業を行う事業者に対し家賃補助として月額4万円を2年間補助する。平成30年度は2件申請された。

**質問** 資金融資事業の内容は。

**回答** 中小振興支援助利子補給金で中小企業の利子の半分を補助している。

**質問** 町観光協会の補助金の使い道や観光案内所の設置は。

**回答** PRためのプロモーションビデオを作成した。駅や、やはばーくに設置を検討していく。

**質問** 県管理河川の中州が雑木や葦などに覆われ、災害時や景観等に影響があるのではないか。

**回答** 町内の県河川は要望の際に話をしている。担当者間でも意見交換している。今後中州除去の要望をしていきたい。

**質問** 生活道路50数路線が未施工である。年間に3、4路線しか改善できなければ対応

は遅れるがどう考えるか。

**回答** 地域に入り道路懇談会を行い、そこで優先順位をつけて整備をしている。

予算の状況で大きなインフラ事業が終われば徐々に着手できると思っている。引き続き整備していきたい。

**質問** 矢次のコンビニ前の道路改修工事の見通しは。

**回答** 南側は11月いっぱいまでかかる。南側の橋は架け替え工事を予定しており、橋の工事に1年かかり、令和2年度の後半に終わる予定。

**質問** 上杉踏切が通行止めで南矢巾踏切の通行量が多い。道路状況を確認してほしい。

**回答** 状況は把握している。除雪シーズンになる前に補修で対応する。



## 福祉・環境

**質問** 民生委員の負担軽減の考えは。

**回答** 定員を増やすなど、委員の負担軽減や待遇改善に取り組みたい。

**質問** DVについて教育委員会との連携は。

**回答** 個人の情報を守りながら学務課、学校関係機関と連携し進めている。

**質問** 異臭への対応状況は。

**回答** においが出た都度、会社に出向き注意喚起しており、強く臭気対策をお願いしている。

**質問** 市街地のムクドリ対策は。

**回答** 枝を伐採して幾分よくなったが、残っている枝に群がっている。民有地のため管理者と協力しながら寄せ付けない方法を考えていきたい。

**質問** ごみ減量推進委員を増員するなどして、ごみの減量

対策を進めてはどうか。

**回答** ごみ減量推進委員は各行政区1人のため地域によっては大変だという声も聞く。

今後のあり方として行政区の状況によって勘案するなど考えていきたい。

## 教育・文化

**質問** 学校の健康診断では要受診とされた児童生徒に対し、医療機関への受診を通知しているが、歯科などは未受診が多いと聞く。その対応は。

**回答** 個別対応するなど指導をしているが、学校養護教諭とともに取り組んでいく。

**質問** 児童館職員が足りないと聞くが対応は。

**回答** 規定の人員は満たしているが、休暇等で人員が欲しいという事は聞く。待遇面で相談しながら進めたい。

**質問** 学校給食に世界の料理などの工夫はないか。

**回答** 世界の料理は出していないが、日本の郷土料理やお月見など季節に合わせた料理を工夫している。

ないが、日本の郷土料理やお月見など季節に合わせた料理を工夫している。

**質問** 現在、部活指導員の配置や活動の状況は。

**回答** 矢巾中のバスケットボール部に1名、矢巾北中のハンドボール部に1名、陸上部に1名となっていたが、現在は1名欠員している。活動は週3回程度であり、大会があれば顧問と同行している。

**質問** 国際交流協会のフリモントへの派遣事業は、自己負担として約20万円かかるが負担軽減の考えはないか。

**回答** 企業への協賛やクラウドファンディング、ふるさと納税などの活用を協会と相談しながら行っていきたい。

## 特別・企業会計

**質問** 矢次の集落排水が公共下水道になる予定であるが、それ以外の状況はどうか。

**回答** 集落排水は5カ所あるが、そのうち今年度は矢次で、次に赤林を公共下水道に繋ぐ。あとの3カ所は様子を見る。

**質問** 下水道の耐震化率は。

**回答** 下水道施設の耐震化率は44%となっている。随時管路補修をして被害が出ないよう進めている。

**質問** 水道料金の値上げは、安全な水道供給を維持するための管路更新、耐震化のために行われたが、その理由が町民に伝わっていないのではないか。

**回答** 町ホームページ、広報紙、じゃじゃっと君でPRしている。今後もPRに努めていきたい。



農業集落排水処理施設

# 審査報告

予算決算常任委員会委員長 廣田 清美

## 課題解決と自主財源の確保を

次のとおり附帯決議を付して可決する。

- 人口3万人に向けた住宅地の確保、企業立地による自主財源向上に努められたい。
- ふるさと納税の推進と企業版ふるさと納税に取り組みられたい。
- デマンド型公共交通は、町民の要望と利便性を重視した運行改善に努められたい。
- 市街地循環バスの運行は、町民の利便性を考慮した方法で検討されたい。
- 自治公民館は各種事業の実施や避難所に指定されており、エアコンなど施設整備の支援を進められたい。
- 国際交流事業は児童・生徒が貴重な体験ができるよう事業展開を工夫されたい。
- 民生児童委員の負担軽減や待遇改善に取り組まれたい。
- 各種がん検診などの受診率向上、健康チャレンジ事業の推進に取り組まれたい。
- 異臭や鳥の被害対策など、環境改善に取り組まれたい。
- 災害防止のため、河川の中州除去の早期対応と地域での避難訓練を進められたい。
- 生活道路整備や自治会と連携した防犯灯設置に取り組まれたい。
- 矢巾スマートインターチェンジ周辺道路及び岩手医科大学関連道路の早期整備完了に取り組まれたい。
- 町営住宅の整備計画等の早期策定を進められたい。
- 認知症や障がい等の理解促進を図るため各種教育で取り組まれたい。
- 水道管の耐震化、下水道の不明水対策を進め、安定した事業を進められたい。

## 討論

表決に付される前に、平成30年度決算に対して5名の議員が賛成と反対の意見を表明しました。

### 健康寿命延伸事業の 充実に期待

健康寿命延伸を目的とした健康チャレンジ事業やシルバリーハピリ体操の指導者の養成など、多くの町民を巻き込んだ事業は、これからの高齢化に対応した地域共生社会に反映されることを期待して賛成とする。

高橋 安子

### 総合的に評価

一般会計自主財源比率が大幅増となったことを評価する。また、医療費助成の拡大、学校トイレ洋式化、不妊治療助成、健康チャレンジなどを積極的にを行い、産業ではズッキーニの特産品化、インフラ整備、定住化促進事業など、水道事業は新配水場による安定した水供給など、これらを総合的に評価し賛成する。

山崎 道夫

### 補助金根拠を明確に

9月会議の予算決算常任委員会において審議された、町が支出している補助金についての答弁が納得できるものではなかった。

町が支出しているすべての補助金を改めて見直すべきであると考え、ことから一般会計決算認定に反対する。

昆 秀一

### 堅実な財政運営を

駅・駅前開発、道路整備等医大関連経費が財政規模を超えた負担となり見直しが必要。ふるさと納税は返礼品として、ビールに6億円、前沢牛、海宝漬に各1億円、楽天等サイト利用料に2億円余を支出するなど、商社的な経済活動となっており、堅実な財政運営を求め反対とする。

小川 文子

### 町民の幸福に使うべき

県央ブロックごみ処理広域化推進協議会は、8市町から排出するごみを1カ所で処理することが目的であり、一部の住民の環境に影響をもたらす健康への害を発生させると考えるため、協議会を脱退すべきである。年間500万円ほど支出している負担金は、町民が幸福と感ずるまちづくりを使うべきであり反対する。

川村 よし子

# 幼児教育・保育の無償化に

7月4日に開催された7月会議では、一般会計補正予算ほかの4件が議決されました。また、9月3日から開催された9月会議では決算審議のほか、条例の一部改正や一般会計など7会計の補正予算について議決され、一般会計予算の総額は約124億2619万円となりました。

## 7月会議

### 補正予算

主な内容は次のとおりです。

#### 主な歳入

▽子ども・子育て支援事業費  
補助金

731万円

▽土地売却収入

1億5773万円

#### 主な歳出

▽公共施設等総合管理  
基金積立金

1億5773万円

▽国民保養センター  
維持管理事業費

468万円

#### 主な質疑

**質問** 保養センターの椅子やテーブルの利用開始予定は。

**回答** 議会議決後できるだけ早く入札など行い導入したい。

## 9月会議

### 条例

**町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正**

幼児教育、保育の無償化に伴い、主食に加えて所得などの基準によって副食費が保護者負担となるものです。



楽しく食事を取る園児たち（ふどうこども園）

#### 保育士の確保は

**質問** 集金等の事務が増えるが、保育士の確保の考えは。

**回答** 保育士の確保が課題となっているため、広域で取り組んでいく。

#### 副食費の負担は

**質問** 副食費（おかずなど）の町負担はどれくらいなのか。

**回答** 副食費については357人中286人が免除となっており、町で772万円負担している。

### 補正予算

主な内容は次のとおりです。

#### 主な歳入

▽地方創生推進交付金

6980万円

▽財政調整基金繰入金

2億88万円

## 主な歳出

▼メデイカルフィットネス

推進業務委託料

2090万円

▼地方創生事業工費

5973万円

▼メデイカル機器購入費

5940万円

▼児童福祉施設等利用給付費

1563万円

## 主な質疑

メデイカル

フィットネスとは

**質問** メデイカルフィットネスを町民にどのように周知をするのか。

**回答** 健康チャレンジやエン(縁)ジョイやはばなどと連携し、丁寧の説明したい。

**質問** メデイカルフィットネスを体験することで、町民の理解が深まるのでは。

**回答** 見学・体験ができるように検討する。

に検討する。



フィットネス事業が行われる医大地内コスモス館（中央手前）

**質問** メデイカルフィットネスの企業公募について、3年で撤退するのが懸念されるが。

**回答** 企業の公募は数件あり、金融機関から融資の話もある。

**質問** メデイカルフィットネスの対象者は広域であるが、町民はどれくらい利用すると見込んでいるか。

**回答** 町にはフィットネス事業者があり、お金を払って健康を維持する人は増えている

ので、一定の人数はいると考える。\*KPIを設け事業申請をしている。スポーツ習慣を定着させ、これにより扶助費を下げることにつながる。

**質問** メデイカルフィットネスの費用対効果がわからない。税を投入してまでやるべきことなのか。町民はどのような恩恵を受けるのか。事業者が継続できることだけではないと考えるが。

**回答** 町にはフィットネス事業者があり、お金を払って健康を維持する人は増えている

**回答** 地方創生事業なので企業が継続できることは必要。

多面的交付金の減額内容は

**質問** 多面的交付金について減額の理由は事業終了のためか、やめたところがあったからか。

**回答** 4組織が事業変更し、2組織が終了したためである。

**反対討論**

メデイカルフィットネス事業は、説明が不十分である。高額なため当初予算で審議するべきであり拙速である。多くの町民が利用できるような費用対効果を望むことから反対である。

小川 文字

## 工事請負契約

町道中央1号線道路改良  
その2変更工事

路床構築の工法変更と既存廃棄物の処分量が増えたことにより、工事費が約4128万円増額となったものです。

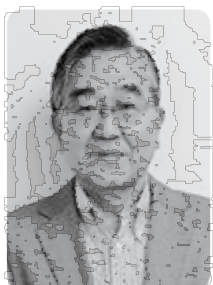
## 人事案件

人権擁護委員の推薦ほか  
4件に同意

人権擁護委員の推薦に成田さんほか1名、教育長の任命、教育委員の任命に1名、固定資産評価審査委員の選任1名に同意しました。

人権擁護委員

成田 榮一さん  
(新任・広宮沢2区)



吉田 芳英さん  
(再任・南矢幅2区)

教育長

和田 修さん  
(再任・広宮沢2区)

教育委員

大坊 一男さん  
(再任・桜屋)

固定資産評価審査委員

佐々木 隆さん  
(再任・南煙山)

※KPI：業績評価指数

# 各議案の採決状況

## 令和元年定例会7月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原 信悦	吉田 喜博	小笠原 佳子	谷上 知子	村松 信一	廣田 清実	高橋 安子	水本 淳一	赤丸 秀雄	昆 秀一	藤原 梅昭	長谷川 和男	川村 よし子	小川 文子		山崎 道夫	廣田 光男	高橋 七郎
第71号	町認可地縁団体印鑑条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第72号	財産の取得に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第73号	財産の取得に関し議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第74号	公共施設等省エネルギー改修その3工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第75号	令和元年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

## 令和元年定例会9月会議

諮問第2~3号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第76号	町工場立地法に基づく準則を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第77号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第78号	町印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第79号	町水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第80号	町手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第81号	町交通安全条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第82号	町公共下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第83号	町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可
第84号	町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第85号	令和元年度一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第86号	令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第87号	令和元年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第88号	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第89号	令和元年度矢幡駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第90号	令和元年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第91号	令和元年度下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第92号	平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	可
第93号	平成30年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第94号	平成30年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第95号	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第96号	平成30年度矢幡駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第97号	平成30年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第98号	平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第99号	平成30年度下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第100号	教育委員会の教育長の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第101号	教育委員会の委員の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第102号	固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第103号	町道中央1号線道路改良その2工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第104号	町道中央1号線道路改良その3工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第105号	町道中央1号線道路改良その4工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

# ズバリ 町政を問う

## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

9月会議では8人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

### ●昆 秀 一 議員…………… P15

- ①障がいを持つ方々への支援
- ②認知症対策
- ③効果的な会議
- ④行政職員の役割等
- ⑤子育て支援の充実

### ●村 松 信 一 議員…………… P17

- ①自然と共存するための取り組み
- ②ひきこもり対策
- ③学校運営

### ●水 本 淳 一 議員…………… P19

- ①交流人口増の対策と近隣市町との連携
- ②ふるさと創生事業とその後の事業展開

### ●川 村 よし子 議員…………… P21

- ①交通安全対策
- ②保育士・介護職員の待遇改善
- ③在宅高齢者対策

### ●赤 丸 秀 雄 議員…………… P16

- ①町内の公共交通
- ②子どもを育む教育課題
- ③町人口3万人構想実現の課題（宅地）

### ●山 崎 道 夫 議員…………… P18

- ①ふるさと納税に対する取り組み
- ②買い物をサポートする「高齢者にやさしいスーパープロジェクト」の取り組み
- ③矢幅駅北側の上杉踏切整備に伴う全面通行止めの問題点
- ④通学路等における倒壊危険ブロック塀の安全対策

### ●小 川 文 子 議員…………… P20

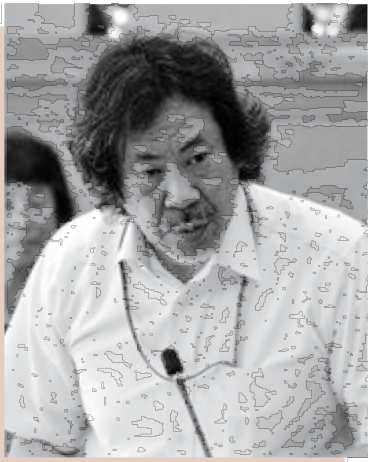
- ①メディカルフィットネス推進事業
- ②デマンド型タクシーと市街地循環バス
- ③やはば一くに外階段の設置を

### ●谷 上 知 子 議員…………… P22

- ①学校給食
- ②外国人との共生
- ③女性の登用と男性の育児休暇を

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。  
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

# 認知症ケアパスの活用は 内容を見直し周知を図る



こん 昆 しゅういち 議員  
(一心会)

**質問** 認知症の方は現在全国で500万人以上と推計されている。

政府では認知症対策の新たな綱を決定しているが、本町での認知症対策を問う。

認知症の方の状態に応じた対応の流れを認知症ケアパスというが、本町での活用は。

**町長** 今年度中に内容を見直し、改定版を発行し周知を図っていく。

**質問** 認知症サポーターへのその後の支援策は。

**町長** 認知症サポーターの中で、おれんじボランティアを組織し活動している。

今後は、フォローアップ研修等も実施していく。



認知症予防に取り組むおれんじボランティアの皆さん

## 本町の子育て支援の特色は

働く世代の支援に力を注いでいる

**質問** 子ども・子育て支援体制の進捗状況を問う。

**町長** 本町は、出生数が減少傾向であり、特に働きながら子育てする世代に対応した子育てを支援することに力を注いできた。

本町の支援の特色は、働く世代の支援に力を注いでいる。

**質問** 幼保無償化の課題と今後の見通しは。

**町長** 初年度は、国からの支援として交付金があるが、来年度以降は公費負担となり、町の負担が増える。

今後は、保育の受け皿の確保を行っていかねばならない。

## 障がい児への支援の連携は

個別ケア会議を開催し支援

**質問** 障がい児に対する教育・福祉・医療との連携体制をどう構築しているのか。

**町長** 個別ケア会議を状況に応じて随時開催し支援を行っている。

**質問** 障がい者の就労では、特に定着が重要であるが、その支援をどう考えているのか。

**町長** 支援者間で情報を共有しながら、定期的に本人の意向に寄り添った支援を行っていく。

# デマンド型タクシーの改善は 来年度に向け改善に努める



あかまる ひでお 議員  
**赤丸 秀雄**  
(一心会)

**質問** 現在運行中のデマンド型タクシーが利用しにくいという意見が多くある。改善の必要性和改善時期の考えは。

**町長** 改善すべきことを把握中であり、10月からの専門分科会で討議し、来年度をめどに運行改善に努めていく。

**質問** 主な改善点に戸口までの送迎、停留所の見直し、運行エリアの見直し、専用電話番号の設置など利用者の声を反映した改善を望むが。

**町長** 利用する人の利便性を考えて改善に取り組むが、道路運送法で決められている規則もある。

そこを考慮しつつ前向きに検討していきたい。

## 子どもを育む 教育課題は

### 地域と学校が連携し 見守り育てる

**質問** 矢巾型コミュニティ・スクール構想の取り組み状況と主旨は。

**教育長** 町内の小中学校を各校ごとではなく、一つのコミュニティ・スクールとしてまとめ、子どもを見守り育てることを目的に、同じ方向を向いて学校経営を進められるよう、10月までに詳細な制度を決めていく。

## 学力向上の 取り組みは

### 両校の中学校で 工夫と実践

**質問** 町内中学校の学力向上が望まれるが、どのような取り組みを行っているか。

**教育長** 矢巾中は「学習クラスマッチ」、矢巾北中は「寺子屋テスト」を行うことで一体



矢巾型コミュニティ・スクールの取り組みが期待される

感が生まれ、教え合いにより学習の向上を図っている。

## 住宅地不足の 対応は

### 申請に向けて準備中

**質問** 町内に住宅地を求めたなどの声が多くあり、住宅地が不足している。市街化区域編入手続きの申請状況は。

**町長** 県を通じて東北農政局と協議中である。協議が整いしだい、開発計画を進めるよう準備している。



# 西部地域の原生植物保護を 自然のまま大切に保存



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一** 議員  
(矢巾明進会)

**質問** 交流人口の増加により人が踏み込むことによって、自然が損なわれてはならない。

**町長** 西部地域は自然のまま残すべき価値がある。観光の側面を重視しすぎないよう生育環境に配慮し、自然環境に詳しい方などの意見を伺い環境保全に努める。

**質問** ヤマユリは「町の花」であるが各地で環境の変化などで自生地域が減少している。栽培や保護等を実施してはどうか。

**町長** ご指摘のように各地で自生地域が減少している。生態や栽培知識に長けた地

域住民の協力のもと、種を採取し森山パストラルパークに増やしていきたい。

**質問** 森山パストラルパークは町のほぼ中心地に位置し、散策道、駐車場、トイレ等も完備しており利用価値がある。

**町長** 現在、南昌ひまわり畑の観光化に努めているが、ヤマユリの里として森山パストラルパークと共に二大観光地としたい。

**質問** 現在も多数自生しているユリを増やし「ヤマユリ公園」としてはどうか。

**質問** ひまわり写真コンテストに加えヤマユリ写真コンテストも実施してはどうか。

**町長** 大変に良い提案として受け止め、ぜひ実施したい。

**質問** オニユリはいろいろな薬効があることから、大量に栽培し矢巾の特産品としてはどうか。

**町長** 健康食材としての特産品の考えはない。

**質問** 自然保護のため須賀倉山や東根山、南昌山ともに県立自然公園に登録申請してはどうか。

**町長** 過去に申請が話題になったことがあったが、決定的な要素にかけ断念した。当面は町立自然公園として管理し、再度広域で申請を検討したい。

**質問** 県道不動盛岡線の花いっぱい運動の範囲を広げたいがその考えは。

**町長** 花壇を増やすことは難しいが、花壇の評判がいいことから前向きに検討したい。



森山パストラルパークに自生するヤマユリ

# ふるさと納税への取り組みは リピーターの増加に努める



やまざき みちお 議員  
**山崎 道夫** (一心会)

**質問** 昨年度、本町のふるさと納税額は県内トップの約15億円となったが、2年間で380倍に急増した主な要因は何か。

**町長** 平成30年度末時点で、返礼品を10品から約200品まで増やしたことで、ポータルサイトの改善により、本町の風景を掲載するとともに、寄附金の使途を明確にし、共感を得られるような構成にしたことが挙げられる。

**質問** 返礼品等の経費と、今後の取り組みは。

**町長** 経費は返礼品の調達や送料、事務経費等で73%となっている。

今後、寄附の使途について一層の周知を心がけ、町外か

らの応援者としてリピーターの増加に努めていきたい。

**質問** 企業版ふるさと納税に対する取り組みは。

**町長** 来年度から税軽減が9割に拡大され、企業もメリットが大きくなることから、応援してくれる企業を見つけていきたい。

## 買い物安心のサポートを

ボランティアの協力で

**質問** 高齢者や認知症患者がスーパー等で買い物する際、サポートが付き添い安心して買い物ができる体制作りを、町として取り組んでは。

**町長** 現在は、「やはばの福祉お使いサービス事業」で買い物支援を実施している。

今後は、ボランティアの協力を得ながら希望する高齢者などの移動支援を行い、安心して買い物や生活ができるサポート体制づくりに取り組ん

でいきたいと考えている。

## ブロック塀の安全対策は

除去費用の補助を検討

**質問** 通学路等における倒壊危険ブロック塀の数は。また除去費用を補助する考えは。

**町長** 11カ所が危険、1カ所が要注意と診断されている。除却費用負担軽減のため補助を来年度から実施できるように検討している。



お使いサービス事業でスーパーを利用する高齢者

# さらなる交流人口増加策は 観光資源と矢巾ツーリズム



城内山から見た矢巾町の眺め



みずもと じゅんいち  
**水本 淳一** 議員  
(町民の会)

ついで意見が交わされている。

**質問** 南昌山の頂上は立ち木等により景観が悪いが。

**町長** 国有林であり、頂上付近はブナ等も生息しているので伐採は難しい。城内山からの展望も充実させたい。

**質問** 県営プール誘致についての矢巾町の考えは。

**町長** 町議員連盟から誘致の要望書はいただいているが、プール誘致も含めどのような施設を優先すべきかを検討中である。

町のスポーツ施設の整備については、競技種目に関わらず、生涯スポーツの拠点として広い世代に利用されるべきと考える。

**町長** 地域づくりの中心を担う心豊かな人材の養成が目的である。

**質問** 事業の内容は。

**町長** 平成元年度から5年間にわたり次の6事業が実施された。

- ・小・中学校交流事業（県外の児童生徒との学校間交流）
- ・ふるさと矢巾会交流事業
- ・開館直後の田園ホールを活用した芸術文化交流事業
- ・アメリカのフリモント町やカナダのラングレー市に中高生を派遣した国際交流事業
- ・各種イベントでの熱気球による体験フェスティバル事業
- ・町内の各種団体の代表者を対象としたリーダー養成事業を実施している。

**質問** この事業による成果と今後の事業展開は。

**町長** 参加者がリーダーとして活躍したことで、本町のまちづくりに生かされている。本町出身者との交流や国際感覚に優れた青少年の育成は今後も継続する。

**ふるさと創生 1億円の内容は**

**6つの事業で 人材育成を**

**質問** ふるさと創生事業で矢巾町が行った事業の目的は。

**質問** さらに交流人口増加に向けての施策は。

**町長** 南昌自然公園や国指定史跡徳丹城跡など魅力ある観光資源が点在する状況を面として開発し、滞在しながら様々な体験をする矢巾ツーリズムによる交流人口増加策に

# メディカルフィットネスの目的は いきいき暮らせる健康な町民を増やす



おがわ ふみこ 議員  
小川 文子 (日本共産党)

**質問** 町が岩手医科大学と連携し、医大附属病院敷地内でメディカルフィットネス事業を実施する。事業開始から3年間で2億6530万円を見込んでいますが、その内訳は。

**町長** 初年度はトレーニングマシンなどの購入費に5600万円、施設内装費に5700万円、運営事業費等に1860万円、2年目は運営事業費等に6200万円、3年目に同じく6380万円となる見込みである。

また、3年後は公募で選定された事業者が起業して運営していく。

トレーニングマシンなどの機器の減価償却期間は3年。施設の賃貸料は月額60万円である。

**質問** 利用料は公募で選定された事業者が設定するが、月額ほどの位か。

**町長** 利用料は月額5000～6000円であり回数券は一回500～700円を想定している。



メディカルフィットネス事業のイメージ

**質問** 対象は町民、町内法人、医大関係者、隣接の市町民であるが町民の利用はどの程度見込んでいるか。

**町長** 会費を支払って施設を利用する方は500人で、そのうちの2割は町民と見込んでいる。

**質問** 京都アニメーションの放火事件を受けて、やはぽーくに外階段の設置が必要では。

**町長** 階段は2カ所にあり、中央階段には防火壁が設置されており、建築基準法上問題はないので、外階段の設置は考えていない。

**質問** 市街地循環バスの医大循環線は、岩手県交通の運行と競合するのでは。

**町長** 一般バス路線と競合するが、地域公共交通会議で協議が整い運行が決定した。

**やはぽーくに  
外階段を  
設置は考えていない**

**質問** 戸口から戸口の希望が多いが。

**町長** 今後、地域公共交通会議の中で検討する。

**デマンド型  
タクシーの改善を  
検討を進める**

# 信号機設置はいつか 県警に要望している



かわむらこ  
**川村よし子** 議員  
(日本共産党)

**質問** 医大附属病院開院により交流人口が多くなり交通事故が多発すると予想される。故が多発すると予想される。

やはば一く前の信号機の早期設置を望むがどうか。

**町長** 町交通安全対策協議会で協議し、紫波警察署に対し信号機設置を要望している。

その後は、紫波警察署内で検討され、さらに岩手県警察本部で開催される交通規制対策協議会で要望事項が検討され決定される。

**質問** 矢巾東小学校・煙山小学校区域の通学路整備計画はどう進めるか。

**町長** 町通学路交通安全プログラムを作成し、交通安全協議会に諮ったうえで順次対策を講じている。

**質問** 煙山小学校周辺の歩道のない通学道路の交通規制はできないか。

**町長** ゾーン30等、地域との懇談や紫波警察署との調整が必要である。

**保育士・介護士の  
待遇改善は**

**制度利用の  
周知を図る**

**質問** 町内で働き続けられるための待遇施策は。

**町長** 人材確保や職場への定着を目的に、施策として処遇改善手当・処遇改善加算の制度を行っている。

**質問** 奨学金返済免除制度の利用を増やす取り組みは。

**町長** 保育士修学資金貸付制度は、県社協が平成29年度から実施。今後利用を増やすための制度の周知等を行う。

**在宅高齢者の  
対策は**



信号機の設置が望まれる矢幅駅前交差点

**保健師等が**

**中心に訪問**

**質問** 老々介護や認知症高齢者が多くなっているが、在宅高齢世帯訪問はどうか。

**町長** 地域からの情報や健診

歴のない方に対し保健師が中心に訪問、さらにエン（縁）ジョイやはばネットワーク事業に保健師等が訪問し、健康状態や生活状況の把握に努めている。

# 給食の地産地消と集金方法は 地場食材活用と多様な支払方法で



やがみ ともこ  
**谷上 知子 議員**  
(令和やはば)



町内産タマネギを荷受けする共同調理場職員

**質問** 地場食材を使用した学校給食は、全国的にも評価され現在は50%の使用率である。旬の食材を使った学校給食の今後の進め方は。

**教育長** 地場食材の活用を進めていくよう食材の提供農家数の増加に力を入れ、また加

工業者に依頼し、食材を献立に入れることで地産地消の向上につなげる。

**質問** 給食費の集金方法は口座振替にならないか。

**教育長** 全国の自治体で給食費の公会計化を促進している。矢巾町でも準備期間を経てから3年後をめどに公会計化に向けて検証を行い進める。公会計化の実施になると他の公金と同様に金融機関やコンビニでの納付が利用できる。保護者の方が多様な支払方法を選択でき利便性が大きく向上する。

## 外国の方々との共生は

### 国際交流協会と連携

**質問** 町内で外国の方を見かける機会が多くなった。外国語教室の普及と外国の方との交流の機会が大切ではないか。地域社会を支える住民として共に生き、日本の習慣や生活のルールを理解してもらえ

るように勧めたらどうか。

**町長** 国際交流協会で英語会話教室を開催している。英語以外の外国語教室については開催に向けて取り組んでいく。矢巾町ごみ専用袋には英語、中国語、韓国語表示をしている。翻訳サイトの活用方法を町ホームページで周知する。

## 男性育児参加と女性の登用を

### 男女共同参画が重要

**質問** 町内の各地域で男女が協力し慣習や制度にとらわれない、男女共同参画の考えの実践活動報告や、町役場内の各課における活動実践も向上している。

男性の育児休暇への取り組みと各団体における女性の登用は進んでいるか。

**町長** 男性職員の育児休暇はゼロであり、町特定事業主行動計画の目標取得率10%を目標に取り組んでいる。女性の登用は各種委員の35%になっている。



ふじわら やすお  
藤原 泰雄さん (室岡)



議会を傍聴する筆者 (上段)

## 住民とともに推進を

町議会の傍聴は初めてでした。議場の雰囲気は少しの緊張と静寂な空間という印象でした。各位着席議長によって議事が進められました。

国会や県議会の討議の様子に似ていて、これが議会の完成形なのだと理解しました。

議員からは、ある分野について質問や提案がたくさん出され、それに対して進捗状況や要検討などの答弁があるわけですが、私自身よく理解できなくて、知識不足に赤面の思いでした。

この応答で驚いたことは、その質問者以外の議員からまったく発言がないことでした。後から聞いた事ですが、一般質問では質問者以外の議員は発言できないルールということでした。

全議員の質問提案等の総数が多岐に渡り、町議会による具現化するための議論の場を傍聴したいと切に感じました。

また、迫る天災や環境悪化の対処の取り組みを議論してほしいし、住民とともに推進してほしいものです。

## 町民と町議会との懇談会開催

# 開かれた議会を目指す

7月6日から3日間、南昌コミュニティセンター、西徳田1区公民館、桜屋公民館の3会場で開催された懇談会では、計38人の皆さまにご参加いただき大変ありがとうございました。懇談会での質疑を一部紹介します。

**質問** 南昌グリーンハイツが休館になっているが、今後の利用を公募してはどうか。

に駐車場を整備したうえで、検討すると聞いている。

**回答** 町では遊戯施設や物置倉庫など検討した経緯はある。公募も一つの手段と思われるので検討する。

**質問** 徳田小学校付近は住宅も少なく、防犯灯が少ないが。

**回答** 防犯灯設置には自治会の負担もあるため、地域で相談し申請してほしい。

**質問** 国民保養センターの入浴料値上げの理由は。

**回答** 消費税率改正で施設維持費が値上がりする中、安定したサービスを提供するため。

**質問** 高齢ドライバー事故防止装置の費用助成の考えは。

**回答** 町でも助成の必要性を認めており検討を始めている。

**質問** 徳丹城史跡周辺に産直や農家レストランなどの活用を望む。

**回答** 佐々木家曲り家の北側

**質問** 穴ぼこなどもあり、道路の補修を早く進めてほしい。

**回答** 医大関係のインフラ整備が落ち着いてから、他の道

**質問** 人口3万人に向けての取り組みは。

**回答** 広域3市町で約70ヘクタールを市街化区域に変更する手続きに動いているところである。



懇談会の様子 (桜屋公民館)

# まちの 人



交差点で安全誘導する渡辺さん



## 交通ボランティア

わた なべ ひで お  
**渡 辺 英 夫** さん（矢巾2区）

### 日没前毎日1時間

### 事故防止に奮闘中

私は矢幅駅通りの十字路交差点に毎日夕方1時間、自作の「早め点灯」のチョッキを着て「横断中ありがとう」の小旗を振り、クラブ活動が終わった下校途中の生徒や駅を利用している通勤者の交差点安全誘導を行っております。

このような事を始めたきっかけは警察官生活41年間のうち交通事故係がほとんどであり、また県警が終わった後の第2の職場のJAでも事故調査に携わり、交通事故の悲惨さ、交通事故が私たちの生活を脅かしてしまうことを目の当たりにしてきたからです。

こうした事故を少しでも地域から起こさせたくないとの思いから「よし、それでは現職時代を思い出して……。」と、第2の職場が終わった平成18年から毎日始めることになりました。

夕方にした理由は、交通事故の発生が日没時間帯に多い

からです。

私の着ているチョッキを見てパッとライトをつける人がおり、そうしたときには私から「ありがとう」という仕草をしております。

私の小旗で無事に横断した生徒や通勤者からは「どうも」というような挨拶をされ、これが私の奮起の源にもなっております。

これからも頑張っております。



## あ と が き

町民目線に立って、開かれた議会を紹介できる広報紙を目指しています。  
今後も、わかりやすい編集を心掛け、興味を持っていただけるよう努力してまいります。  
編集副委員長 廣田 清実

### ○表紙に寄せて○

9月14日に開催されたふどうこども園運動会。おうちの方や地域の皆さんに見守られて、みんなニコニコ元気にかっ飛ばしとびぎりの笑顔があふれた1日でした。



### 発行・編集責任者

議長 藤原 由巳  
編集委員  
委員長 水本 淳一  
副委員長 廣田 清実  
委員 藤原 信悦  
吉田 喜博  
小笠原佳子